

北見武道通信

令和6年4月18日 00687号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】

たくましい空手の子供たち「テントウムシ祭り」!?



北心会の空手の子供たちは元気いっぱい、明るく楽しそうです。「空手が楽しい」と皆が声をそろえます。武道館に来る時も帰るときも、大きな声で挨拶をしてくれます。最近「道場3」にテントウムシが異常発生しました。どこから来たのか今まではなかった事件です。空手の子供たちにそのことを伝えるため「道場3」に窺^{うかが}うと、みんなでテントウムシをつかまえてくれました。「武道通信」で紹介してくださいという、みんなが集まってくれて、拳^{こぶし}を突き上げ「テントウムシ祭り」と笑ってくれました。どんなことでも楽しみに変えてしまう子供たちのたくましさには驚^{おどろ}かされました。(佐藤)

連載 中国「老子」の思想 二十九章 取ろうとすれば失う

天下を取ろうと策を弄する者に、天下が取れたためしはない。天下とは、まことに扱^いにくいものである。まとめようとする、バラバラになり、追^いかければ、逃^げる。思うままに動かそうと作為しても、動かせるものではない。「先」があれば、「後」がある。「緩」があれば、「急」がある。「強」があれば、「弱」がある。「上」があれば、「下」がある。およそ物事には、必ず対立する二面があって、一方に片寄れば必ず他方に転化する。だからこそ、聖人は、物事の一面に執着せず、作為を排してただ自然に従うのだ。原文將欲取天下而爲之、吾見不得已、天下神器、不可爲也、爲者敗之、執者失之、故物或行或隨、或响或吹、或強或羸、或載或隳、是以聖人、去甚、去奢、去泰、三十章に続